

京都教育大学 F D ニュース

No.74

2015 年 5 月 19 日

京都教育大学 FD 委員会

授業中間アンケート実施状況調査結果について

今回の FD ニュースでは、「平成 26 年度後期 教育学部 授業中間アンケート」に関して行った実施状況調査の結果について報告いたします。

授業中間アンケートは、平成 25 年後期に開始し、今回が 3 回目となりました。授業評価の視点が強い、その授業の終了間近に行う学期末の授業アンケートとは違って、授業担当者がリアルタイムに授業に対する学生の要望を把握し、学生と教員間のコミュニケーションを深め、その授業の改善に役立てることを目的とするのが授業中間アンケートです。調査対象科目は受講登録者 6 名以上の全授業科目であり、学生に授業内容（授業の難易度と速度、教員の熱意等）について選択肢から選ばせ、その授業の良かった点と改善すべき点、授業についての感想や意見を自由に記述してもらう FD 委員会の様式を用意していますが、各先生の独自の様式でも可としています。

平成 26 年度後期の「授業中間アンケート」に関してお尋ねした実施状況調査は、これまでの調査結果と比較して、次のようになりました。

問 1. 独自作成のものも含め授業中間アンケートを実施しましたか。

	25 年後期	26 年前期	26 年後期
はい	30 (56.6%)	51 (62.2%)	37 (67.3%)
いいえ	23 (43.4%)	29 (35.4%)	18 (32.7%)
無回答	0 (0.0%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)
計	53	82	55

回答数が減ってしまいました。アンケート実施数そのものが減ったのか、調査への回答数のみが減ったのかは不明です。アンケートは短い時間で実施することができますので、次回にはぜひ実施していただき、調査にもご協力いただきたいと思います。

問 2. 授業中間アンケートをしなかった主な理由についてお聞かせ下さい。

- ・ 失念していた。
- ・ 学生の模擬授業中で、また同時に介護実習期間中で毎回 5 ～ 10 名の公欠があり、アンケート実施がのびのびになった。
- ・ 実施時期に別のアンケート（授業で使用）を実施したので、取り組めなかった。学生の意向については初回に口頭で述べ、提出レポートに記載を求めた。
- ・ 授業が実習形式のため、学生とのコンタクトも頻繁にとれていると思われます。

- ・アンケートの所在に気がつかなかった。（アンケート用紙をまとめてメールボックスの中に入れておいてほしい）
- ・受講生が最終的に5名であったため、実施を控えた。
- ・学生の卒論アンケートの協力などが入ってする余裕がありませんでした。
- ・前期と同じ顔ぶれで、学生に尋ねても必要なしとのことだったので。少人数（9人）のクラスで、学生たちの習熟度は小テストなどで把握しています。
- ・時間的余裕がなかった。
- ・アンケート実施の対象となる授業が月曜設置の科目であり、台風の影響や出張にともなう補講などで不規則実施となったため、測定が不能だと判断しました。例年は独自形式のものを使う年であれば、FD委員会の書式を使うこともあります。
- ・時間がなかったことと、必要があまりないじゃないかと思います。
- ・授業予定がタイトだったため、時間をとれませんでした。
- ・Field workが多く、外で終了することが多かったので。
- ・受講生が1名のため。
- ・時間がなかったため。
- ・春学期には実施したが、あまり有意義ではなかったため。
- ・授業時間いっぱい授業するため、アンケートをする時間がなかった。また、毎回のプチレポートでアンケートも行っているため。
- ・特に必要を感じない。

アンケートを実施しなかった理由は、時間がなかったというものが多いようです。実施時期は、授業が4～6回程度進んだ時点としていますが、授業の進行ぐあいや形式によって前後しても結構ですので、実施をお願いしたいと思います。

問3. 使用した様式について

	25年後期	26年前期	26年後期
FD委員会の様式	24 (80.0%)	43 (84.3%)	32 (86.5%)
独自の様式	6 (20.0%)	8 (15.7%)	5 (13.5%)
計	30	51	37

（「独自の様式」の回答）

- ・自由記述でコメントしてもらい、それを教員がコメントを付して返却するという形で実施しました。
- ・毎回の授業後に授業内容についての意見や解答を求め、次の時間に活用。

問4. 中間でのアンケートを実施することについて

	25年後期	26年前期	26年後期
意義があった	9 (29.0%)	25 (48.1%)	19 (51.4%)
どちらかというとき意義があった	17 (54.8%)	21 (40.4%)	14 (37.8%)
どちらかというとき意義がなかった	3 (9.7%)	3 (5.8%)	2 (5.4%)
意義がなかった	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)
無回答	2 (6.5%)	1 (1.9%)	2 (5.4%)
評価できない	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)
計	31	52	37

ほぼ9割の先生方から意義があったと評価されています。これはアンケートが当該授業にすぐに活かせることにあると思います。

問5 授業中間アンケートの結果を受けて、授業内容・方法を変えた点があれば具体的にお聞かせください。

- ・理解不十分な点について、授業ビデオを視聴させて具体的に理解させるなど。
- ・授業の感想を求めたため、具体的な意見が記述されていた。このため授業の改善に生かした。
- ・授業の意図が伝わっていない受講生がいる（シラバスを読んでいない？）ようなので、口頭での説明やプリントの書き方に配慮している。
- ・マイクの音量を上げた。
- ・討論の時間を増やし、学生のレベルを考慮しゆっくり喋るようにした。
- ・パワーポイントのフォントやスライド内の字数、出席の取り方。
- ・変えないでほしいという意見が多かったので変えていない。
- ・学生からの筆記での意見について、授業のはじめに、全学生に口頭で来年度のシラバスの参考にさせてもらう旨を伝えた。
- ・スライド一枚の情報量を減らし、学生の手元に一覧を配付した。
- ・パワーポイントの表示方法（図にキャプションを付すなど）
- ・学生に何事をするにも意見を求めた。
- ・話すのが早いという指摘が2通あったが、教材の量が多いので仕方がない部分もある。理解は得られているようである。
- ・授業の内容で教わりたいことの希望が書かれていたものがあつたので、授業にそれを取り入れた。
- ・板書を簡略化し、ペースダウンさせた。
- ・高校の内容との関連について、積極的に解説した。
- ・配付プリントをより鮮明なもの、カラー図版に変更、板書を整える。
- ・出席の取り方を変更した。
- ・授業の難易度および進度について、個々の学生の考えを把握することができた。
- ・学生諸君が授業内容をどの程度理解できているかを確認できたことで、前回の復習にもすこし時間を割くように心がけている。
- ・質問対応時間をとった。
- ・学生の意見を受け止め、学生の指摘を授業で紹介して改善すると伝えた。
- ・アンケートの回答内容では受講人数の多さが原因であることに対する指摘が多く、今期内での改善は難しいと思う。ただ、工夫の余地を探っていく。
- ・授業のスピードと資料の内容。
- ・今回は前期でアンケートに出されていたものを変更したのでおおむね良かった。

問6. 学生へのフィードバックの方法について（複数回答あり）

	25年後期	26年前期	26年後期
口頭	18 (52.9%)	31 (56.4%)	25 (62.5%)
文書	2 (5.9%)	1 (1.8%)	4 (10.0%)
Web	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
特別なフィードバックはしていない	8 (23.5%)	15 (27.3%)	5 (12.5%)
その他（具体的に）	4 (11.8%)	7 (12.7%)	4 (10.0%)
無回答	2 (5.9%)	1 (1.8%)	2 (5.0%)
計	34	55	40

(その他の回答)

- ・理解不十分な点について、授業ビデオを視聴させて具体的に理解させるなど。
- ・円グラフでスライド提示して口頭説明を行った。
- ・授業スライド内にグラフ化し、内容とも絡めて紹介した。
- ・授業内容に反映
- ・同じ変更をしても学生によって感じ方、考え方が違うということを実感した。

学生へのフィードバックは口頭でという先生が6割強、文章でという先生も1割となり、フィードバックしているという先生が増え、特別なフィードバックをしていないという先生が減りました。授業中間アンケートの目的のひとつに学生と教員間とのコミュニケーションを深めるということがあります。学生の「アンケート疲れ」や「やらされ感」に対応するためにも、アンケートを読んだということが学生に伝わるように簡単な一言でも結構ですので授業中にご発言いただくと、良い効果が生じると思われます。積極的なフィードバックをお願いします。

問7 FD委員会様式の「授業中間アンケート」の設問について

(改善の余地有り)

- ・一定の形式を定めて実施するよりも、授業についての具体的な感想や意見を求めた方が実際の改善に役立つ。数量化するものよりも具体的な質的アンケートの方がよい。
- ・5件法と4件法と混ざっていますので、全て1～5か全て1～4に統一した方が良いかと思えます。
- ・教師志望かどうかの項目を加えてはどうか。(授業に期待するものが異なると思われるので)
- ・学生の授業への取り組みに関する設問(出席回数など)があった方がよい。
- ・中間アンケートは時間をとるのが難しい。(前期も同様であった)学生も書きにくいと思われる。
- ・中間アンケートの実施に改善あり。

これらのご意見を参考にし、今後FD委員会で中間アンケートについて検討をして行きたいと思えます。

+++++

12月17日に開催し、好評を得た「平成26年度第2回FD研修会 授業力を向上する!その2 ー学内情報機器の活用方法にこたえます!!ー」で使用した機器「インタラクティブ書画カメラ L-12iD」と「ワイヤレス・ペンタブレット かけるもん」の1セットを1号館事務室に用意しました。ご活用ください。

現在、前期の授業中間アンケートの実施期間中です。授業を学生がどう受け止めているかを把握し、当該授業中のフィードバックにより、受講生の学習意欲の向上も期待でき、今後の授業改善に役立てることが出来ます。アンケートは5分程の短い時間を割いていただければ可能です。例年同様、アンケート終了後の6月上旬には有効性検証のために授業担当者へ実施結果についてのご意見をお伺いします。ご協力よろしくお願いたします。

問い合わせなどがありましたら、下記の委員までお願いいたします。

FD委員会委員：安東(委員長)、大竹(副委員長)、古賀、谷口(慶)、田爪
事務担当：富家、相原